

令和3年3月31日

精華町地球温暖化対策地域協議会委員 各位

精華町地球温暖化対策地域協議会

会長 土井 勉



第10回「精華町地球温暖化対策地域協議会」の書面協議結果について

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素は、精華町地球温暖化対策地域協議会に対しまして御理解と御協力をいただき厚く御礼申し上げます。

第10回協議会の書面での御報告にあたりましては、御意見等いただきありがとうございました。結果につきまして、以下のとおり報告いたします。

【報告事項と結果】

報告事項1 公共交通利用転換事業計画の施策の進捗状況について

(1) 公共交通利用転換事業計画の効果検証について

①公共交通利用転換事業計画 効果検証(3年目)について

意見)カーシェア事業を当地区で試験的に実施するということは未だ検討中とあるが、やはり協議会独自の域内カーシェア事業の試験実施は難しいと考えているのか。
回答)当協議会の事業として、カーシェア事業に取り組んでもらうパートナーを探しているが、見つけることが困難な状況である。

(2) 連節バスの運行状況について

①利用者数の推移について

→意見なし

(3) その他

①けいはんな直通バス利用状況について

→意見なし

②デマンド交通実証実験について

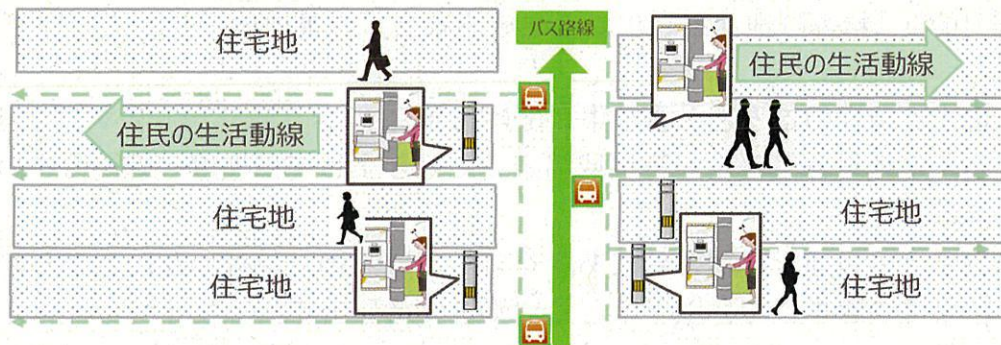
→意見なし

③スマートけいはんなプロジェクトについて

意見)「まちなか宅配ボックスサービス」について、光台一丁目、二丁目に設置されたことから、国立国会図書館の職員住宅ニーズや事業所の利用を目的にしていたと推察されるが、ピエラタウンが二丁目にあることから、買い物や外食のついでに宅配を受け取るという様な需要を調べる目的があったのか。また、分析結果は公表されるのか。

回答) 電柱吊型宅配ボックスは、精華台一丁目と二丁目に計五箇所設置した。設置場所は、下図のようにバス停から自宅までの生活行動の動線上に設置し、利用効率を高めることもねらいとしていたが、関係者と協議の結果、現在の位置（精華台一丁目、二丁目）に設置することとなった。

本実証実験は、国交省から調査委託されたものであり、概要を公表することとしている。今後は、今回得られたデータや関連データをもとに、地域の皆様の生活利便性の向上を図って参りたいと考えている。



④スーパーシティ構想について

→意見なし

報告事項2 今後の協議会のスケジュールについて

→意見なし

その他

※質問

・「資料② 接続バスの利用状況について」の下段、調査日に関する注釈で令和元年6月、令和元年12月、令和2年10月の記述に（祝園駅での乗降人数のみ）の記述があるが、これは他の停留所間の利用者は調査対象外という意味なのか。

回答) 例年であれば、毎年10月の調査は、全停留所を対象としているが、令和2年10月はコロナ禍の影響で駅のための調査に変更した。